

## 令和3年度 事業報告

自 令和3年04月01日

至 令和4年03月31日

本財団と旭川市の間締結された「井上靖記念事業の実施に関する協定」により、両者は日本文化の振興及び発展への寄与を目途に協力して井上靖記念事業を実施いたしました。令和3年度も旭川市の「井上靖記念事業実行委員会」の全面的な協力を得て諸々の文化事業を実施・運営する予定でしたが、令和2年1月から始まった新型コロナウイルスの感染拡大が令和3年度まで続き、多くの事業計画が中止や延期を余儀なくされ、前年度に続き誠に残念な1年間でした。

### 1. 文化賞授与事業

第5回井上靖記念文化賞は、令和2年11月1日から報道機関及び文化芸術団体等を通じて候補者の推薦を募集し、20件の推薦が集まりました。前年度の選考から繰り越された7件の候補を合わせて27件が第5回の受賞候補者となりました。令和3年2月20日に東京都内にて選考委員会を開催し、受賞者を決定する予定でしたが、こちらも感染拡大防止で延期を余儀なくされ、令和3年7月10日に開催された選考委員会において、バレエダンサーでKバレエカンパニー芸術監督の熊川哲也氏を井上靖記念文化賞に、(株)藤原書店代表取締役社長の藤原良雄氏が特別賞に決定されました。

受賞理由は、熊川氏が「日本人初のローザンヌ国際バレエコンクール金賞受賞後のプリンシパルとしての国際的な華々しい活躍、Kバレエカンパニーの設立など、精力的な公演活動や後進の指導を続けている業績」に対して、藤原氏が「藤原書店を率い、フェルナン・ブローデルの大著『地中海』をはじめ、フランス現代思想の翻訳出版を精力的に行うほか、『石牟礼道子全集・不知火』、宇梶静江の自伝『大地よ！』等を出版し多大な反響を呼ぶ」との評価によります。

贈呈式は、令和4年2月13日(日)旭川市において開催しましたが、同じく新型コロナウイルスの感染予防のため、熊川氏からは事前に作成いただいたビデオメッセージの上映、藤原氏にはオンラインで参加いただく形式で、お二方ともご来場いただくが実施いたしました。また、予定しておりました選考委員ならびに財団関係者を含めた市外から参加する方々全てをお断りしたため、代替措置として贈呈式の様子をご覧いただけるよう、一部を動画にしてYouTubeで公開いたしました。

また後日、本財団理事長が旭川市の方々とともに令和4年3月2日に熊川哲也氏(井上靖記念文化賞受賞)と藤原良雄氏(同特別賞受賞)の事務所を訪問し、賞状・記念品・副賞をお届けいたしました。

## 2. 日本文化の研究者、研究団体への助成事業

### ○ 国内

井上靖文学の研究団体である「井上靖研究会」に研究誌『井上靖研究』への刊行助成を行うとともに、同会のホームページ管理にも助成を行いました。

また、井上靖文学の研究者で別府大学教授の高木伸幸氏著の新刊「井上靖の文学一途で烈しい生の探求」の出版事業に対する助成を行いました。

### ○ オーストラリア・ニュージーランド

平成18年度に、オーストラリア・ニュージーランドにおける日本文学の研究奨励のため、シドニー大学に設立した「井上靖賞」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度も開催を中止いたしました。

### ○ ベトナム

平成27年度に、ベトナムにおける日本文学、文化の研究振興のため、国際交流基金ベトナム日本文化交流センターと共同で開催した「井上靖賞・日本文学研究論文コンテスト」は、令和3年度に第5回の募集・選考・贈賞を行い、当該事業の実施に係る助成を行いました。

本賞は研究者・一般部門と学生部門の二つに分かれており、今年度は研究者・一般部門で3名が受賞し、「よしもとぼなな」の小説をテーマとしたグエン・テイで、フィン・チャン氏（グリーン教育システム）が1位に、学生部門も3名の受賞者で、「イングロ・カズオ」の小説をテーマとしたレー・ミン・コイ氏（ホーチミン市師範大学・国語学部4年生）が1位とでした。

授賞式は、ベトナムもコロナ禍で、令和4年2月26日にオンラインで実施されました。

## 3. 遺品・愛蔵品の保存・公開事業

○ 本財団のホームページを更新・管理しました。

○ 旭川市「井上靖記念館」において

常設展示の他に、以下のような企画展4回を本財団と共催で開催しました。

第1回：「井上靖 蔵書展Ⅲ ～日本及び中国・西域の史料」展

（令和3年6月21日から、10月24日）

第2回：「井上靖の旅Ⅱ 海外編」展

（令和3年10月30日から令和4年1月30日）

第3回：「井上靖 人と文学Ⅺー」『わが母の記』を巡って」展

（令和2年10月31日から令和3年1月31日）

第4回：特別展示「3.11 文学館からのメッセージ」

（令和4年3月1日から令和4年3月31日）

- 日南町美術館において  
展示資料寄託契約のもとに常設資料展示に協力しました。
- 長泉町の「井上靖文学館」において  
常設展示の他に、以下の企画展を本財団の後援で開催しました。  
「井上靖没後30周年リニューアルオープン企画展 「美をめぐる物語」  
(令和3年7月17日～令和4年3月8日)

#### 4. 近代文学資料収集・調査研究事業

- 日本近代文学館との共同事業により、日本近代文学に関する蔵書・資料・アルバム・書簡等の収集整理を行いました。
- 日本近代文学、殊に井上靖に関する蔵書・資料・アルバム・書簡等の収集整理を行う他、井上靖の資料収集・調査研究を行っている当財団機関誌『伝書鳩』第21号を12月に刊行しました。

#### 5. 講演会開催事業

- 旭川市井上靖記念館における「青少年エッセーコンクール」を共催  
第10回「青少年エッセーコンクール」(主催：旭川市教育委員会、井上靖記念館(指定管理者 NPO 法人旭川文学資料友の会))を共催。応募総数377件の中から中学の部6作品、高校の部6作品を入賞に決定しました。  
新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止のため、表彰式は中止し、吉増剛造審査委員長による講評を中心に、オンライン表彰式を実施しました。
- 『あすなる忌』(井上靖追悼事業)  
例年1月29日の井上靖の命日に近い日曜日に伊豆市湯ヶ島町の熊の山墓地と天城会館劇場ホールで、伊豆市、伊豆市教育委員会、井上靖ふるさと会主催、長泉町「井上靖文学館」、本財団等の後援で実施しておりました『あすなる忌』(井上靖追悼事業)は、墓参と「井上靖感想文・感想画コンクール」の表彰式、椎名誠氏による講演会等を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。  
また、伊豆市の天城湯ヶ島町民劇団「しろばんば」の演劇公演も開催されず、本年度における助成は実施されませんでした。